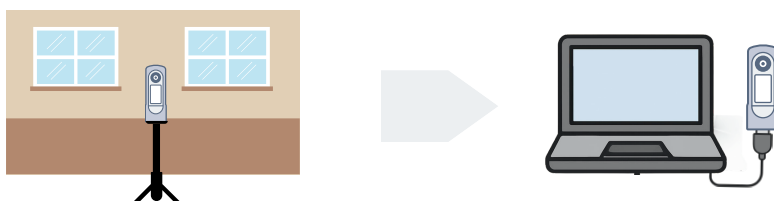


# RICOH THETA X

## はじめに

本ガイドでは、物件撮影用プラグインがインストールされたRICOH THETA Xの使い方をご説明します。電源を入れるとプラグインが自動で起動し、撮影からPCへの画像取り込みまで、簡単な操作で行えます。



## RICOH THETA X 本体 & 画面説明

### 撮影モード設定

- 上ボタン (2s/4s)
  - タイムシフトのとき
    - タイムシフト撮影間隔の設定
  - 通常撮影のとき
    - セルフタイマー設定値
- 下ボタン (タイムシフト)
  - タイムシフト/通常撮影切り替え



- 電源ボタン(本体側面上)
- Modeボタン(本体側面下)
- 表示パネル
- シャッターボタン
- ネジ穴 (三脚座)

※「タイムシフト」の説明は次ページをご覧ください。

## 撮影手順

### 1. 付属の一脚にカメラを固定する

**△ご注意ください!**

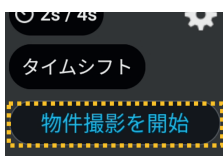
**一脚のネジを強く締めすぎないこと  
カメラのネジ穴が破損します**

### 2. 電源を入れる

- 電源ボタンを長押し
- ※スリープ復帰時は短押し

### 3. 撮影する


- [物件撮影を開始] → [開始する]
- シャッターボタンを押して撮影



### 4. 画像を確認する

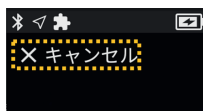
- 画像を上下にスワイプして確認

### 5-1. 画像を保存する

- 画面下の [撮影箇所を選択]
- 
- リストから撮影箇所を選択 (ファイル名に反映されます)
  - [画像を保存]

### 5-2. 画像を保存せず、再撮影する

- [×キャンセル] → [破棄する]



### 6. 別の部屋の撮影をする

- 手順3~5を繰り返す

### 7. 撮影を終了する

- [物件撮影を終了] → [終了する]



# 物件撮影用プラグインをご利用のお客様向けガイド

## よくある質問

**Q** タイムシフトとは何ですか？

また、撮影時はどのように動けばよいですか？

**A** THETAに組み込まれている2つのカメラを1つずつ時間をずらして動作させて撮影し、360度画像を合成する機能です。

これを利用することで、物陰など隠れるところがない場所でも、撮影者が映り込まない360度画像を撮影できます。

タイムシフト撮影（デフォルト設定値 [2s/4s]の場合）の手順と、撮影者の動き方は以下の通りです。

1. シャッターボタン側（反対側のレンズが見えない位置）に立ち、シャッターボタンを押す
2. 2秒カウント後に1回目（シャッターボタンの反対側）を撮影
3. 1回目撮影後すぐ4秒カウントが始まるので、撮影者はシャッターボタンの反対側へ移動  
**△ご注意ください！ カメラ・一脚を倒さないように移動すること**
4. カウント終了後に2回目の撮影が行われ、撮影終了

**Q** 撮影した画像をパソコンに取り込む方法を教えてください。

**A** 以下の手順で取り込みできます。

1. 付属のUSBケーブルを使って、カメラとパソコンを接続する
2. 画像をパソコン（Windows）に取り込む  
画面表示に従って、操作してください。  
（[デバイスを開いてファイルを表示する] を選択してください。）  
※Macはサポート対象外です
3. 取り込みが完了したら、USBケーブルを取り外す

## THETA本体に関するお問い合わせ

THETA本体に添付しているQRコードを読み取り、本サービス専用のサポートページにアクセスしてください。もしくは、サポート専用ダイヤルにて受付いたします。

画像のアップロードや動画生成に関しては、サービス提供元のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

本内容やプラグインのアップデート方法については、  
Webページでもご確認いただけます。



<https://link.ricoh360.com/business-package-customer-acquisition-ai>